

## 都市計画案の概要について(お知らせ)

福岡県が定める都市計画の案について、次のとおり縦覧しますので、お知らせします。

対象 須恵都市計画道路の変更(福岡県決定)  
3・3・1号粕屋宇美線および3・4・4号志免植木線

縦覧期間 平成17年10月7日(金)から同月21日(金) 期間中の土・日曜日、祝日を除く、8:30~17:00)

縦覧場所  
・福岡県建築都市部都市計画課  
・須恵町役場企画課

意見書の提出 本案について意見のある人は、縦覧期間満了日の10月21日(金)までに、意見書を福岡県都市計画課(役場経由可)に提出することができます。

問合せ先  
・福岡県建築都市部都市計画課  
☎651-1111(内線4644)  
・須恵町役場企画課  
☎932-1151

## 校区コミュニティ祭りのご案内

各小学校を会場に、ステージ発表やバザーなどが盛りだくさん。

ご家族みなさんで楽しめます。たくさんのご来場をお待ちしております(各会場とも駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください)。

すこやかコミュニティ(第一小学校校区)

すこやか秋祭り  
11月13日(日)開催

いきいきコミュニティ(第二小学校校区)

べったんフェア  
11月13日(日)開催

ふれあいレインボー(第三小学校校区)

ふれあい祭り  
10月23日(日)開催

## 須恵パーキングエリア スマートインターチェンジ 社会実験

平成  
18年

3/26日迄

延長決定

須恵パーキングエリアスマートインターチェンジは、平成18年3月26日(日)まで社会実験の延長が決定しました。

昨年の12月18日(土)から始まった社会実験は、開始当初の12月の1日当たりの平均利用交通量は、299台でしたが、3月平均628台、8月平均1036台、と日を追うごとに順調な伸びを示しました。

9月22日には、最大1405台の利用があり、社会実験を実施しているインターチェンジとしては、全国でも上位の利用台数となっています。

今までの社会実験の効果として、

須恵町役場から太宰府ICが、須恵パーキングエリアスマートインターチェンジ設置により、従来の約40分から約10分に短縮など所要時間が最大30分短縮、また救急医療活動および血液運搬が16件と大きな貢献をしています。

須恵パーキングエリアスマートインターチェンジは、本格導入に向け、なおいくつかの利用促進策や管理運営費用の縮減策を検討するため、引き続き平成18年3月26日(日)まで実験期間を延長することになりました。

今後とも住民のみみなさんのご理解、ご協力をお願いします。



日々通勤で利用されている須恵スマートIC

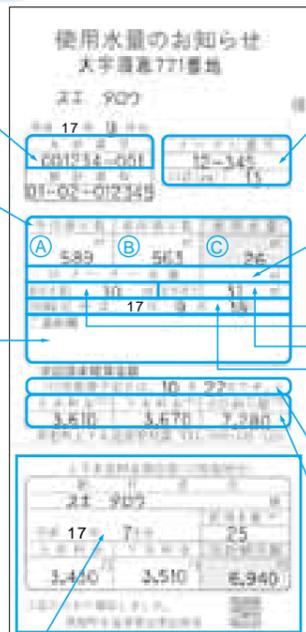
## 上下水道使用水量のお知らせ (検針通知書)の見方のご案内

料金などのお問い合わせの際は、「水栓番号」をご連絡ください。

- ①今回指数は、今月のメーターの確認した数字です。
- ②前回指数は、前月に検針で確認した数字です。
- ③  $A - B = C$  は今月使用した水量です。この水量に基づいて、上下水道料金が計算されます。

- 漏水などの連絡がある場合に記入いたします。(例)
- ・メーター確認(確認したけどメーターは回ってない時)
- ・漏水赤紙(漏水してて、不在の場合、別に通知した場合)

この使用水量は、メーター検針の際にお知らせしております。毎月20日頃に検針して、翌月に料金を請求させていただいております。便利な口座振替をご利用ください。



前回の口座振替の領収書です。未利用および振替が出来なかった場合は表示されません。

お客様が使用されているメーターの番号および大きさを表示しています。(約7年で交換します。)

メーターを交換した時に、旧メーターの使用水量が記入されます。

前月の使用水量(参考)

昨年と同じ月の使用水量(参考)

今回の検針した日付が記載されます。

口座振替を利用されてある方の振替予定日です。

次回の請求予定金額です。

問合せ先 役場管理課 ☎932-1151

## 21・22番目の町指定文化財誕生

須恵町教育委員会は、町指定文化財として須恵焼2点を指定することを決めました。今回指定された須恵焼は、金鑄染付山水文花生」と金鑄染付酒注」です。書かれている銘



これらは個人蔵の資料ですが、ご好意により、久我記念美術館2階の常設展示室で展示させていただきます。

文から、ともに明治22年の作と考えられます。この年は、須恵町の前身の須恵村が誕生した年にあたります。福岡を代表する書家の吉岡拜山と画家の村田秋江による書と絵付けは、他の作品には見られないものです。

染付とは、呉須で絵付けをしたあと、透明釉を掛けて焼き上げて青く発色させる焼き物をいいます。金鑄染付は、釉薬の中に鉄分を含むため、地の部分が黄褐色に、絵付けの部分が緑色に発色します。240年におよぶ須恵焼の歴史の中で、この技法は明治20年前後のみみられるものです。